

学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	工芸高等学校
准校長名	雑賀 範子

開催日時	令和8年1月31日(金)16:30～17:30
開催場所	府立工芸高等学校 1階 准校長室
出席者（委員）	村田 裕司 会長、 新見 紀美子 副会長、 加藤 可奈衛 委員 坂根 修 委員、 佐藤 仁美 委員
出席者（学校）	准校長 雑賀 範子、 教頭 前原 永幸、 首席 吉田 彩人、 進路課長 瀧川 厚、 生活指導課長 林 千春
傍聴者	0名
協議資料	令和7年度学校経営計画及び学校評価、 令和8年度学校経営計画（案） 令和7年度学校教育自己診断（生徒用、保護者用、教職員用） 令和7年度進路状況一覧、生活指導課NEWS冬休み特別号
備考	

議題等（次第順）
・学校の現状について（各分掌より） ・学校教育自己診断 ・授業アンケート ・その他

協議内容・承認事項（意見の概要）
○村田会長より エッセイコンテスト「17歳のメッセージ」賞受賞者2名についての紹介。 あわせて教頭より詳しく補足を行った。 ○教頭より ・学校教育自己診断の結果報告（数値変化の大きいものをピックアップし説明を行った。） 〈生徒向け〉「行事・スポーツ大会について」「教員は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる」等、肯定的な回答が大きく変動（6～7pt）した項目について重点的に説明を行った。 ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなど生徒会主導の行事にも力をいれている。 〈保護者向け〉「学校の行事に参加したことがあるか」については大きく減少した結果となった。次年度以降さくら連絡網を活用し保護者と連携する取組みを説明し、保護者連絡への新たな活用として「さくら連絡網」の活用について説明を行った。 〈教員向け〉「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」「体験学習やボランティア活動が活発に行われている」等、肯定的な回答が大きく変動（10pt～）した項目について重点的に説明を行った。 教員数減少の中で中堅教員等を中心に経験の浅い教員をサポートしながら、情報交換を交えながら学校運営に取り組んでいる。また各教員の業務量についても、業務のスクラップ＆ビルドを行いながら調整を図り、組織的に運営できるように進めている。

・授業アンケート

質問項目の肯定的な回答の平均が95.8%と高い結果となり、遅刻欠席はあるがほとんどの生徒が授業に出席したら真面目に取り組んでいる。

坂根委員ご意見「第二工芸の頃から生徒への質問項目の人権に関する項目の肯定率が高かったが、さらに上がっている。人権関係の講師から工芸（定）では生徒へのサポートがすごく充実していると聞いている。引き続き肯定率を高めることができるように取り組んでください。」

教頭回答「生徒からも対応が早くきめ細かいとの声を聞いています。」

村田会長意見「生徒・保護者の質問1（〈生〉学校へ行くのが楽しい、〈保〉子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている）がしっかりリンクできている。リンクすることが少ないイメージであるため、しっかりリンクできていることが素晴らしい。」

教頭回答「不登校経験者が多く在籍しているが、学校に行くこと自体が楽しく思えてくれたら良い。」

准校長回答「この項目に限らず、さらにアンケートの把握に努めていきたい。次年度からはさくら連絡網を活用し、そこからもアンケートが実施できるので上手く活用していきたい。」

○准校長より

・学校評価について

学校教育自己診断の結果と分析、協議会からの意見と今回でのご意見の追記および取組内容の自己評価について重点的に説明を行った。

村田会長ご質問「本校でも別室での遠隔授業を行っているが、そこで授業を受けれているのにわざわざ教室に行く意味を見いだせない生徒もいる。どのように内規とマニュアルの作成しているか」

教頭回答「本来は学習保障の観点から遠隔の実施が主であるが、本校では高校に通って卒業したいという思いを持って入学してくれている生徒の気持ちを尊重したく、家でオンライン授業を受けるのではなく学校に来れるようになるきっかけのツールの一つとして考えて実施しているが、今も試行錯誤しているのが現状です。」

坂根委員ご意見「項目エの情報モラルについての講習を定期的には実施されているのは素晴らしい。芸術・デザインの学校として情報教育（誹謗中傷だけでなく、著作権等にもかかる部分含む）を行っており、非常に良い取り組みをされている。また人権課題においても国が定めているものを幅広く取り組んでいることを改めて実感できた。」

・令和8年度学校経営計画について

中期的な目標について重点的に説明を行い、承認を受けた。

○教頭より学校の現状について

・生徒の在籍報告および工芸展の開催について説明を行った。

○生活指導課長より

・生徒会活動、問題行動について、交通安全指導についての報告を行った。

・生徒中心に活動ができるようにサポートできるような教員体制の構築を目指している。

・生徒は比較的落ち着いており、プラスの雰囲気にはびっばられている生徒が多く全体の雰囲気としても良い傾向にある。

村田会長ご意見「ヘルメット着用率を高めることはなかなか難しい問題。中学校も啓発に努めていきたい。」

佐藤委員ご意見「娘もヘルメット着用に抵抗がある。バイクでは着用するが自転車でヘルメットは抵抗があると言っている。」

○進路指導課長より

- ・進路状況について報告
- ・担任を中心に教員全体でサポートに取り組んでいる
- ・現在就職では建設会社やラベル会社の面接に向けて準備を行っている。進学でも2名受験準備中。

村田会長ご質問「近畿大学と龍谷大学進学希望者は、最初から進学を希望していたんですか」

進路指導課長回答「そうです」

○教頭より

- ・今後の学校行事予定についての説明を行った。

次回の会議日程	
日時	令和 8 年 6 月 12日（金）
会場	大阪府立工芸高等学校 1 階 准校長室